



とつきの丘だより

No.7 / October, 2007

竹村内科・腎クリニック通信

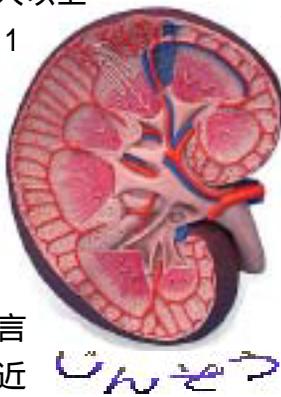
〒322-0029 栃木県鹿沼市西茂呂 4-46-3

Phone; 0289-60-7577 Fax; 0289-60-7578 URL: <http://take2002.on.arena.ne.jp>

外来診療編

臨床試験のご案内

日本の高血圧患者は3300 万人以上いて、50 歳以上では2 人に1 人が高血圧だそうです。140/90 以上を高血圧と考えます。普段は症状はほとんどないのに、突然、心臓発作・脳卒中をおこすサイレントキラー(静かな殺し屋)と言われています。ところで、最近注目される病気に、慢性腎臓病(CKD)があります。原因を問わず、おしっこに蛋白が出たり、腎臓の働きが低下する病気です。500 万人が該当するそうですが、血圧も高いことが多く、一般人に比べて特に心臓・脳血管発作が際だって多く発生します。アンジオテンシン受容体拮抗薬(ARB)という薬は、単に血圧を下げるだけでなく、尿蛋白を減らし、腎機能を保護して、心臓病や脳血管障害の予防にも有効と期待されています。血圧が高く蛋白尿のある患者さんについて最適な治療を探るために、筑波大学腎臓内科教室(山縣邦弘教授)と共同で臨床試験を行っています。実施内容に承諾を頂いてから行いますが、患者さんの不利益になる治療はありません。途中で自由に中止することもできます。ご協力をお願いします。



在、日本には、約500 万人もの骨粗鬆症の患者さんがいるとされています。女性に多く、50 歳代で21%、60 歳代で48%、70 歳代で67%、80 歳代ではなんと84%もの高率です。腰が曲がったり、身長が縮んだりします。最近では若い女性の無理なダイエットが、骨粗鬆症につながるという報告もあります。なぜ骨粗鬆症が問題になっているかというと、現在約90 万人はいるといわれている寝たきりの方の原因の3 番目が、骨粗鬆症による骨折です(1 番は脳卒中、2 番は老衰)。高齢者で腰が曲がったり背が縮んだりしている方を見かけますが、これも骨粗鬆症からきているのです。骨粗鬆症の診断には、骨密度測定装置DXA 法(二重エネルギーX 線吸収法)が、その正確さ・簡便さから病院に広く普及してきています。当院の機器もこの最新鋭のDXA 法です。片方の腕を測定器におくだけで簡単に測定することができます。もし異常が見つかった場合、治療についても有望な薬剤が健康保険で使えるようになっていきます。詳しくは医師にご相談下さい。



骨粗鬆症にご注意!

骨粗鬆症とは、骨の密度が減少し、骨がスカスカになり折れやすくなる病気の事です。現

ウラも見てね



学会だより

6月に大阪国際会議場で、第52回日本透析医学会学術集会が開かれました。全国の透析治療関連の医療施設からたくさんの発表がありました。当

院からは、「FutureNet OS UNIX と Windows を連携させた透析患者情報の管理(山口実)」と「テープ固定の再考(須田俊行)」の2題を発表しました。業務のミスを減らして効率化をすすめるためにコンピュータ管理を導入した経験と、透析事故防止のための工夫を研究しました。たくさんの質問を頂いて活発な議論を行いました。

医学のトピ

イギリスの女性の飼い犬が、ホク口の匂いをかぎ、噛み切ろうとさえした。この犬が他のホク口には見向きもしなかったため、女性は皮膚科に受診した。すると、問題のホク口は悪性黒色腫と診断されて、直ちに治療された。これは有名な医学雑誌『Lancet』1989年4月1日号に掲載された「Sniffer dog for the clinic?」で紹介されている。この記事を見た Armand Cognetta 医師(米国、フロリダ州)は調教師と協力して警察犬のジョージを訓練したところ、ジョージは試験管に入っ

た悪性黒色腫のサンプルをほぼ100%の確率で嗅ぎ当て、実際の患者でも同様に悪性黒色腫を鑑別



している。さらにケンブリッジ大学獣医学部では前立腺癌患者の尿を犬に嗅がせて鑑別させる研究を行っている (Church J, Williams H. Another sniffer dog for the clinic? Lancet 2001; 358: 930)

ガンを見つける犬がいる

*写真は「チハル」メス4ヶ月、記事とは関係ありません。

木もれ陽

先日、病院の待ち人数と、待ち時間がわかるサービスをしているという新聞記事を読みました。待ち時間の表示は、銀行や郵便局では実際に始まっています。県内でも、大きい病院では診察状況を電光掲示板にて表示しているところもあり、やがて医院や歯科医などでも一般化するかも知れません。しかし読書好きの私には待ち時間の楽しみがあります。かかりつけの歯



医者さんでは、蔵書(まんが)がズラリと並び、あっという間に1時間。美容院では、普段は自分では買わない女性誌をパラパラ。忙しい生活のなかで読書をするのが難しいので、本を持参することもあります。待ち時間は、「ゆとりの時間」でもありました。とは言っても待ち時間はないほうがいいです。当院でも待ち時間の短縮に努力していますが、まだまだ御迷惑をおかけしている状態です。「さつきの丘だより」は皆さまのストレス解消になりましたでしょうか(笑)